

さまざまな施策に努めてきたところですが、

しかし、残念ながら大町町の人口減少を食い止めるには至っていません。このような実情のなかで、お尋ねの「人口減少施策の効果」ということでありますが、私が町長になって7年間で、自然増と自然減を比較しますと、583人の減となっており、高齢化率が高い大町町は、出生者数と、無念にもお亡くなりになられる死亡者の数の関係から、どうしても自然減は多くなります。

しかし、転入者数と転出者数にかかると社会増と社会減では、207人の減となっていますが、定住移住促進事業を活用され、大町町に移住された人が388人となっており、減少抑制に大きな効果があったと考えています。

特に昨令和3年は、新聞報道でもあったように、全国713ある過疎市町村のうち、転入者が転出者を

上回る転入超過となった94の市町村に大町町も数えられており、子育て支援や定住移住促進事業等の施策が少しずつ浸透してきていると分析しています。

今後見込まれる大型事業の建設計画は

鶴崎 敏彦

①耐震設備がなされていないスポーツセンターの利用について、数年利用がなされていない状況で、スポーツ愛好者の皆さんは町外の施設を利用されているが、いつ使用がされるのか期待をされているが、いつ改築をされるのかを質問します。

②老朽化が著しい公民館の改築についてどのような改築計画を検討されているか質問します。

③老朽化が進んでいる保育園の改築についてどのような改築計画を検討されているのか質問します。

④旧町立病院の跡地の利用についてどのような計画

を検討されているか質問します。



▲大町保育園園舎

①町民の皆さんには、町スポーツセンターの閉鎖により、生涯スポーツなどの機会を十分に提供できておらず、ご不便をおかけしていますことに、申し訳なく思っています。

このため、他市町の施設を利用する場合の利用料の補助をさせていただくことに対応していますが、町の

スポーツセンターは、建築後48年が経過し、躯体、内装の老朽化が著しく、何より耐震性を備えない危険な施設であり、閉鎖しています。

この施設を、さらに改修し活用していくことは、耐用年数も過ぎていくことから考えていません。

②公民館については、建築後43年が経ち、耐用年限が間近に迫っていることから、建て替えの検討の時期にきていると判断しています。

これらのことを踏まえ、第5次総合計画をはじめ過疎地域持続的発展計画などで計画しているとおり、公民館、スポーツセンターなど複数の機能を備えた複合施設として、ご質問の生涯学習・生涯スポーツの機能も充実させる方向で進めていきたいと考えています。

③大町保育園については、基本的には現在の施設を適切に管理しながら維持し、活用していくこととしてい

ますが、塗装の劣化や雨漏りなど修繕が必要な箇所もあり、今年度に園舎の状態を調査することとしています。

この結果を踏まえて、令和5年度以降の改修・修繕などを検討していきたいと考えています。

④旧町立病院の跡地は、そのまま建物を利用し、中国系の倉庫として売却の話が進んでいましたので、町の活性化のために活用したいと要望をした結果、新武雄病院から無償で提供いただきました。

今後、国道34号沿いの賑わい創出、町の活性化のため、有効に活用していきたいと考えており、複合施設の候補地としての選択肢なども含め、検討していきたいと考えています。